

本日 The BIOENERGY international 誌 2011 年 11 月号が届きました。2011 年イタリアペレット市場の記事が掲載されていたので、コピーをお送りいたします。そのページに**テルモロッシ社の EASY3001 の写真が掲載**されていました。この **EASY3001** がイタリアを代表する安くて高性能な象徴的なペレットストーブであることが窺えます。以下、記事の概要をお伝えいたします。

既に皆様もご存知のように（私のペレットクラブ機関紙 Vol.7【2010 年 4 月号】への投稿もご参照下さい。）2009 年イタリアでは 100 万台以上のペレットストーブが普及していましたが、この記事では 2011 年には 36%増加し 148 万台と予測されています。

イタリアでは 15kg 入り袋が普及していて、2011 年には 170 万トン以上消費される予定です。ガスが高価なので、ペレット市場に拍車を掛けています。

高性能ペレットストーブ市場が成長しています。イタリアの消費者はストーブの性能と高品質ペレットの両方が重要であることに益々敏感になってきています。

ペレットボイラーの普及はペレットストーブと比較すると大変遅いです。2010 年には 14,000 台が設置され、2011 年の予測は 15,500 台設置です。

ペレットは不足していて国内調達半分以下で、主に中央ヨーロッパ・東欧・北アメリカからの輸入に頼っています。ペレットの価格も上昇する傾向にありますが比較的安定しています。この事実が以前と比べてズーッとペレット市場を安定させています。

10 月の北イタリアの平均価格は消費税込みで 4.10 ユーロ【1 トン 273 ユーロ】、サイロトラックで供給されるバルクペレットでは 1 トン 250 ユーロでした。

イタリアでは ENplus 【最新のペレットの欧州規格】認証は現実のものとなってきました。7 月 1 日に AIEL(Association of Italian Log Energy)が認証機関のライセンスを受けました。

イタリアのペレットメーカー第一次組が ENplus 認証を受けようとしています。2012 年末までには多くのイタリアメーカーが認証されるでしょう。

今までにも増してイタリアのペレットメーカーは品質認証の重要性に心を砕いていて、ヨーロッパの広範囲に及ぶ認証の一部を担うことを望んでいます。

今後の課題 1 . 原料に注目

来年以降の最も重要な課題はイタリアのペレットメーカーは規格を満たす原料が不足することと原価上昇に直面することです。

更に高いペレット需要は更なる輸入の増加につながります。消費者からの信頼と市場の安定のために品質を限定することとペレットのトレーサビリティも非常に重要です。

今後の課題 2 . 成長を続けること

ペレット市場は再び成長することが予想されています。今後ストーブとボイラーの販売は確実に盛んになるでしょう。ペレットの外国からの輸入比率は益々増大するでしょう。

Annalisa Paniz 記 AIEL の固体バイオ燃料の品質・市場責任者 www.aiel.cia.it

(The BIOENERGY international 誌の購読申し込みはペレットクラブへ Tel 026-252-7506)